

23班

水産業に関わる人が輝ける労働環境づくり

牧野
山崎
北島
松本
岩男
沼野

研究
動機

行橋の漁港で働く女性が少なく、大半を男性が占めていて男女間での雇用の差を解決することができるだろうか考えたから。

→ジェンダーの平等X

漁業は世界的な成長産業だが……



世界全体の漁業は成長中であるが、日本の漁業だけは成長率がマイナスになっていて、漁業が衰退している!
→経済成長X

出所: 2点とも国連食糧農業機関

【研究内容】

水産業の労働環境を改善することで3つの目標を解決!!



- 水産業の労働環境についてデータを集めて比較し、外国と日本の共通点や相違点について調べる。
- 起きている問題とそれに対する取り組みを調べる。
- フィールドワークを行い、国内の現状を知る。

日本の水産業にも活用できる労働環境の改善策を考える!!

【フィールドワーク等のアイディア】

- 漁港や海で働く人々など男女問わずインタビューを行う。
- 水産業界で実際に問題になっていることや仕事で思っていることなど多くの話を聞く。

【研究の意義・価値】

このテーマを研究することで、水産業で働く人々の環境や海の状況、経済の発展状況を知ると共に、仕事での男女差別の現状を発信し、少しずつそのを広げることで男女差別や海の状況を改善し、経済成長を促進できると考えた。